

フェアトレード商品でショー

きょう、静岡文化芸術大

学生モデル 啓発図る

浜松市中区の静岡文化芸術大で30日に開かれるフェアトレード全国フォーラムで、環境や人権に配慮して作られた服を使った学生によるエシカル(倫理的)ファッションショーが行われる。市内の大学生や高校生がモデル役を務め、環境汚染や貧困といった課題の解決に貢献できる消費行動を発信する。

1を企画した。披露する18種類の衣装はフェアトレード商品のシャツやニット帽、同市の繊維商品企画会社の生地を使ったスカートやジャケットを組み合わせた。コーディネートしたのは同大デザイン学部の増田梨沙さん(4

発展途上国の製品を適正価格で購入し立場の弱い労働者を守るフェアトレードやリサイクル、地産地消などを重視した買

年)と田頭里咲さん(3年)。田頭さんは「今着ている服はどこで、誰が作ったのか。ショーをきっかけに考えてほしい」と話す。



エシカル消費を重視したファッションを紹介するモデル役の高校生。29日午後、浜松市中区の静岡文化芸術大

29日に同大でリハーサルが行われ、モデル役が本番の動きを確認した。浜松聖星高の樽松心音さん(3年)は「私たちの将来のためにも不平等をなくすのは大切。多くの人にフェアトレードの仕組みを知ってもらいたい」と意気込んだ。ショーは午後5時15分から、同大講堂で。入場無料。(浜松総局・柿田史雄)